

3組合が合同で

視察研修を実施

ACTIVE KUMIAI



丸山理事から組合事業について説明

6月21、22日にわたり、**葦崎市環境事業協同組合**（向山陽一郎理事長）・**北杜市環境事業協同組合**（篠原充理事長）・**甲斐市一般廃棄物協同組合**（堀内満紀子理事長）が合同で新潟県の長岡市一般廃棄物リサイクル事業協同組合への視察研修事業を行い、3組合から15人が参加した。

合同での視察研修ということで昨年度より検討を行っていたが、3組合の予定を合わせるのが難しく、何度かの日程調整を経て今回の実施にこぎつけた。

長岡市一般廃棄物リサイクル事業協同組合では施設を視察するとともに、丸山司理事と鷲尾達雄理事から組合の設立の経緯やシルバー人材センターなどを活用した金属を含んだ廃棄物の収集・再資源化事業、長岡市の廃棄物処理行政のニーズに合わせた事業展開と雇用の創出の成果について説明を受けた。

葦崎市組合の向山理事長は「いずれの組合も生活系一般廃棄物の収集運搬などを事業としていることは同じだが、組合員の所有していた空き施設を活用して組合のリサイクル事業がスムーズに展開できていることが非常に参考になった。」と述べた。

北杜市組合の篠原理事長は「山梨県でも県全体の組合が連携して一般廃棄物協会を設立し活動を続けているが、今後は甲信越といったより広域での連携も重要ではないかと考えさせられた。」と述べた。

また、甲斐市組合の堀内理事長は「市民サービスの向上という視点で事業に取り組んでいることが大変参考になった。また、これまでも理事長同士は面識があったが、今回の視察により近隣組合の組合員とも面識も得られ、大変有意義で楽しい研修であった。」と述べた。

参加した組合員からも「他の組合の事業活動について知ることで自社の事業活動の参考にもできた。合同での視察研修を今後も企画して欲しい。」という感想があり、大きな成果が得られた。



組合で設置しているリサイクル施設を視察